



氷見ロータリークラブ

2024～2025 年度会報



氷見ロータリークラブ会長就任挨拶

2024-2025年度
氷見ロータリークラブ
会長 前 康彦

この度、歴史と伝統ある氷見ロータリークラブの第56代の会長に就任することになり、光栄に存るとともにその責任の重さに身が引き締まる思いでございます。

これからの1年間は、会員の皆様をはじめ、いろいろな場面で関わる皆様のご指導とご協力を頂き、氷見ロータリークラブの魅力がさらに高まる1年間になるよう、努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

2024-2025年度R I会長のテーマは「ロータリーのマジック」・・・クラブでの体験を魅力的なものにする。地区テーマ「ロータリーを高めよう」はともに各クラブの活性化を目指していると思います。

R I会長は好ましい変化をもたらす一つの方法としてクラブでDE I（多様性、公平さインクルージョン）の原則を取り入れることを推奨しています。

以下引用（寄稿者：ケイティ・ハリデー（アデレードシティ・ローターアクトクラブ並びにアデレードライト・ロータリークラブ会員）（オーストラリア））Netflix社のInclusion Strategy 副社長で、Verna Myers Companyの創設者であるVerna Myersさんは多様性とインクルージョンの違いを次のように表現しています。「多様性とは、パーティーに招待されること。インクルージョンとは、そこでダンスをするように誘われること」これをロータリーに当てはめると、例会や行事に、さまざまな背景をもった人たちを招待するというだけでは不十分であるということです。

クラブにおける計画や意思決定に参加してもらい、彼らの意見を十分に吸い上げることが必要です。

引用終わり

氷見ロータリークラブにおきましても、DE Iを取り入れ、諸先輩方が築いてこられた歴史と伝統を守りつつ、地域と時代への適応力を高め、好循環を生み出して行きたいと思っております。